

「広場計画のコンセプトおよび計画案について」



人・交通・自然が気持ちよく循環する「都市の庭」

2002年12月開催新潟駅 駅舎・駅前広場計画提案競技

「堀越 英嗣 案」 再確認



人・交通・自然が気持ちよく循環する「都市の庭」

「都市の庭としての駅・ひろば」

資料 2

新潟駅周辺は北に信濃川、さらには日本海へと開けた、地方中核都市の中でも雄大な自然に恵まれた場所を有している。現在その風景は視覚的に南北に分断され、連続性を失っている。また、同時に都市に住む人々のアクティビティも分断され、駅を挟み発展の地域格差が生じている。

新潟駅の抱えるこの「分離」の症状を治療し、人々や交通の動線を気持ちよく循環させ健康的な様々な活動にあふれた、魅力的な駅、駅前広場を計画し、新潟市の顔として新たな風景を提案する。



「南北の都市軸の焦点としての都市に開いた広場 – 都市の庭」

資料 2

駅前広場全体を様々なアクティビティを誘導する「都市の庭」と位置づける。

広場中央は南北に有機的に連続させた大きな様々な屋外イベントや休憩、待ち合わせ、語らいなどのできる緑の天蓋を有する歩行者広場を確保する。

この大きな歩行者広場は南北とも共通に設けることとし、万代広場は都市計画道路・新潟駅停車場線（幅員50m-6車線）を、南口広場は都市計画道路・弁天線（幅員60m-4車線）のいわば、「都市の軸」線方向につながり、さらに高架下空間を介して南北の広場が一体的な利用が図られるように計画している。

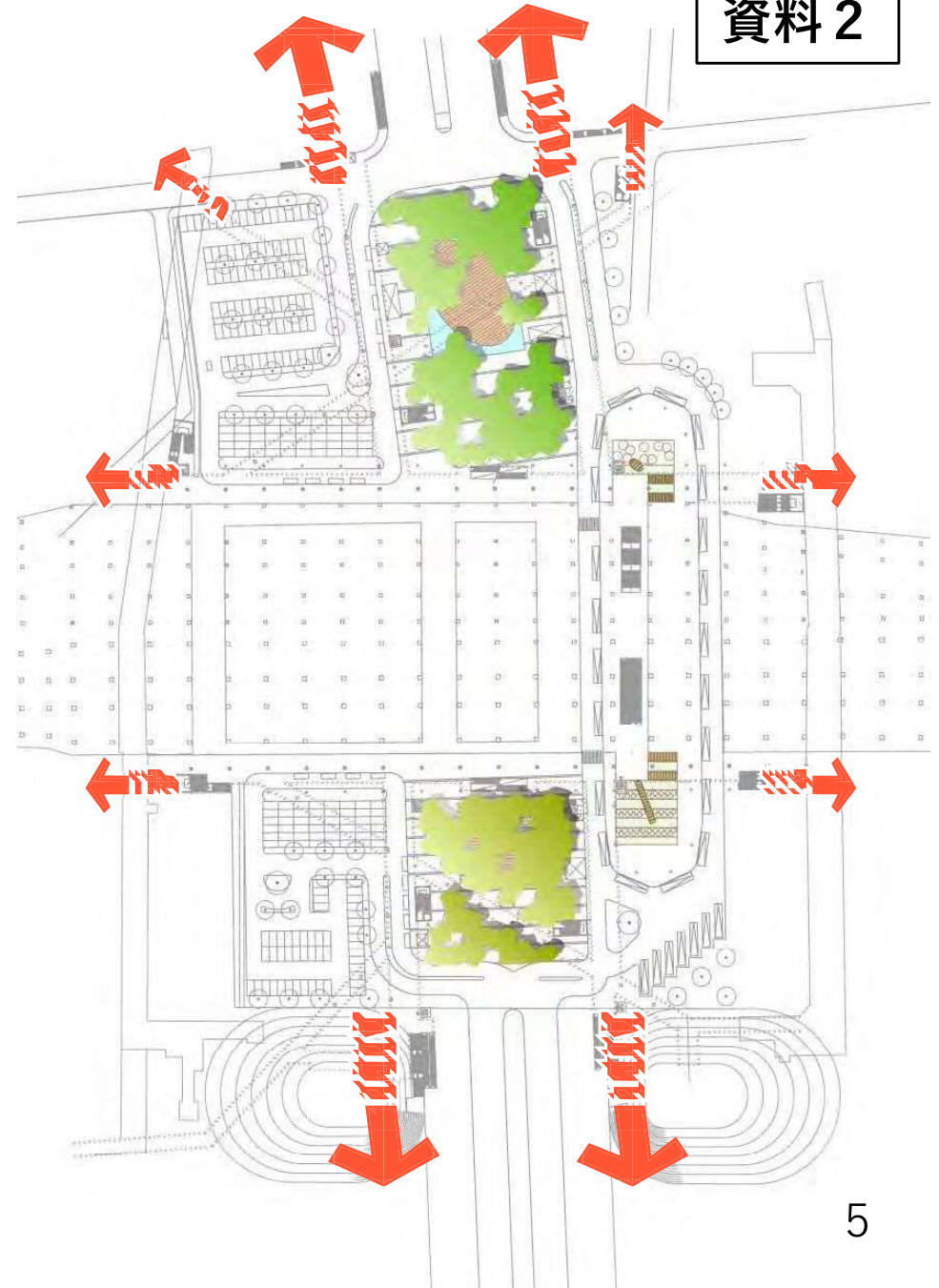


「新しい都市インフラとしてのバリアフリーによるペDESTリアンデッキ」

資料 2

橋上駅舎のデッキレベルから周辺市街地へと誘うペDESTリアンデッキのネットワークをつくる。デッキは駅舎に沿って東西方向に、かつプラザを挟む南北方向のダブルデッキの太い幹、放射状につなぐ細い枝とで構成される。万代広場の太い幹は50m道路（都市計画道路・新潟駅停車場線）の歩道に、南口広場の太い幹は60m道路（都市計画道路・弁天線）の歩道へ、放射状の枝は周囲の再開発ビルや周辺市街地へとつながっている。

地上部とデッキレベルとの接続は、バリアフリーの思想のもとにエレベーター、エスカレーター、階段などを効果的に配し、プラザレベルとデッキレベルとが有機的な連携ができるよう配慮している。



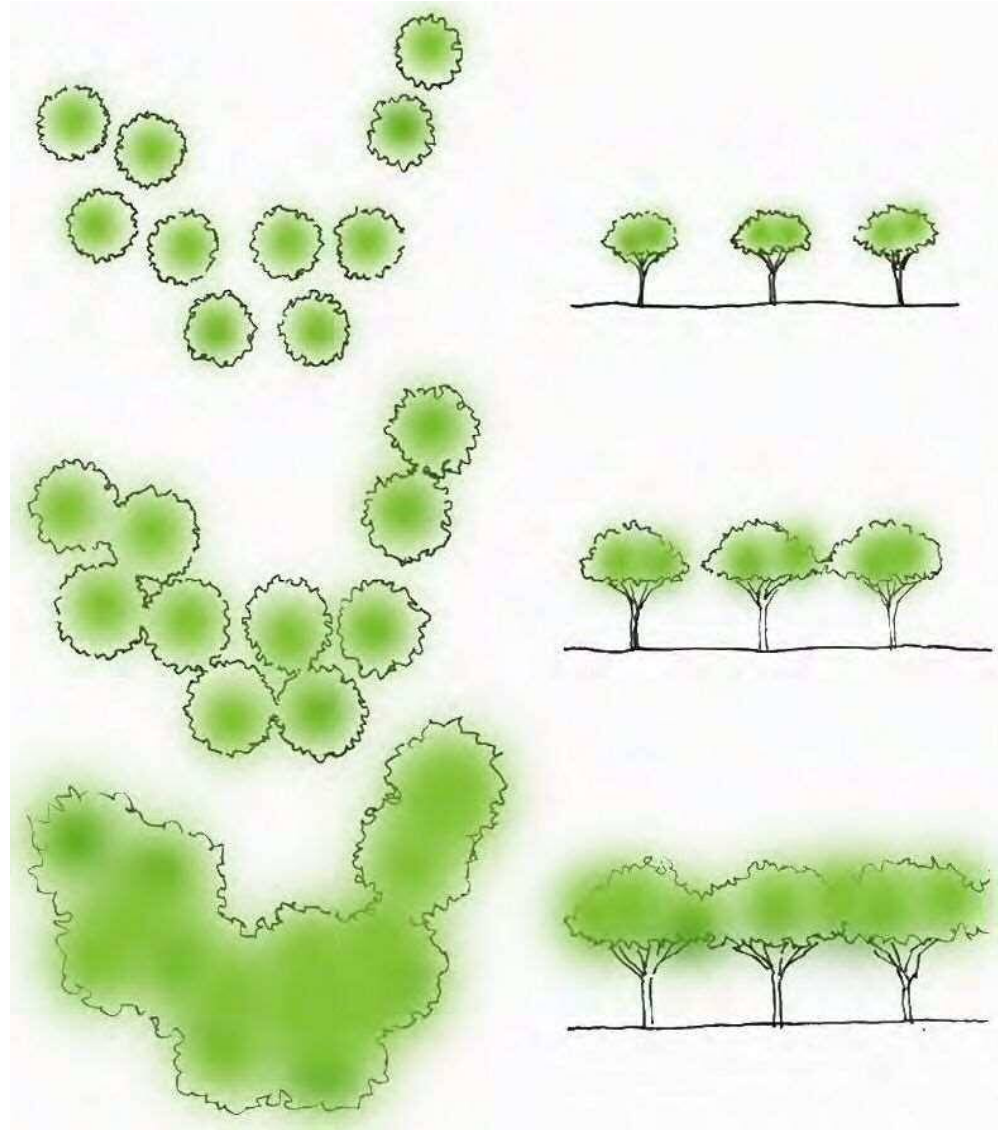
「時間の経過とともに成長、成熟していく広場」

資料 2

たとえば広場内樹木にしても、若い成長力のある樹を植え、大きな緑の天蓋をつくる。

若木を市民参加で選びだし（樹種、植え方も含めて）完成時にそれなりの大きさを、またその後の成長を見まもる、このような時間の経過によってより完成度が高まるような考え方を盛り込みたい。

また広場の使い方、空間演出に関しても、市民の思いを十分に反映するためのプロセスを経るだけの時間、エネルギーを投入することで、市民に親しまれ、愛着を持たれ、積極的に利用される広場となる。



万代広場・中央広場デザインコンセプト

東西ペDESTリアンデッキ (案) 設計説明

■ 2017年度計画案イメージスケッチ

資料2

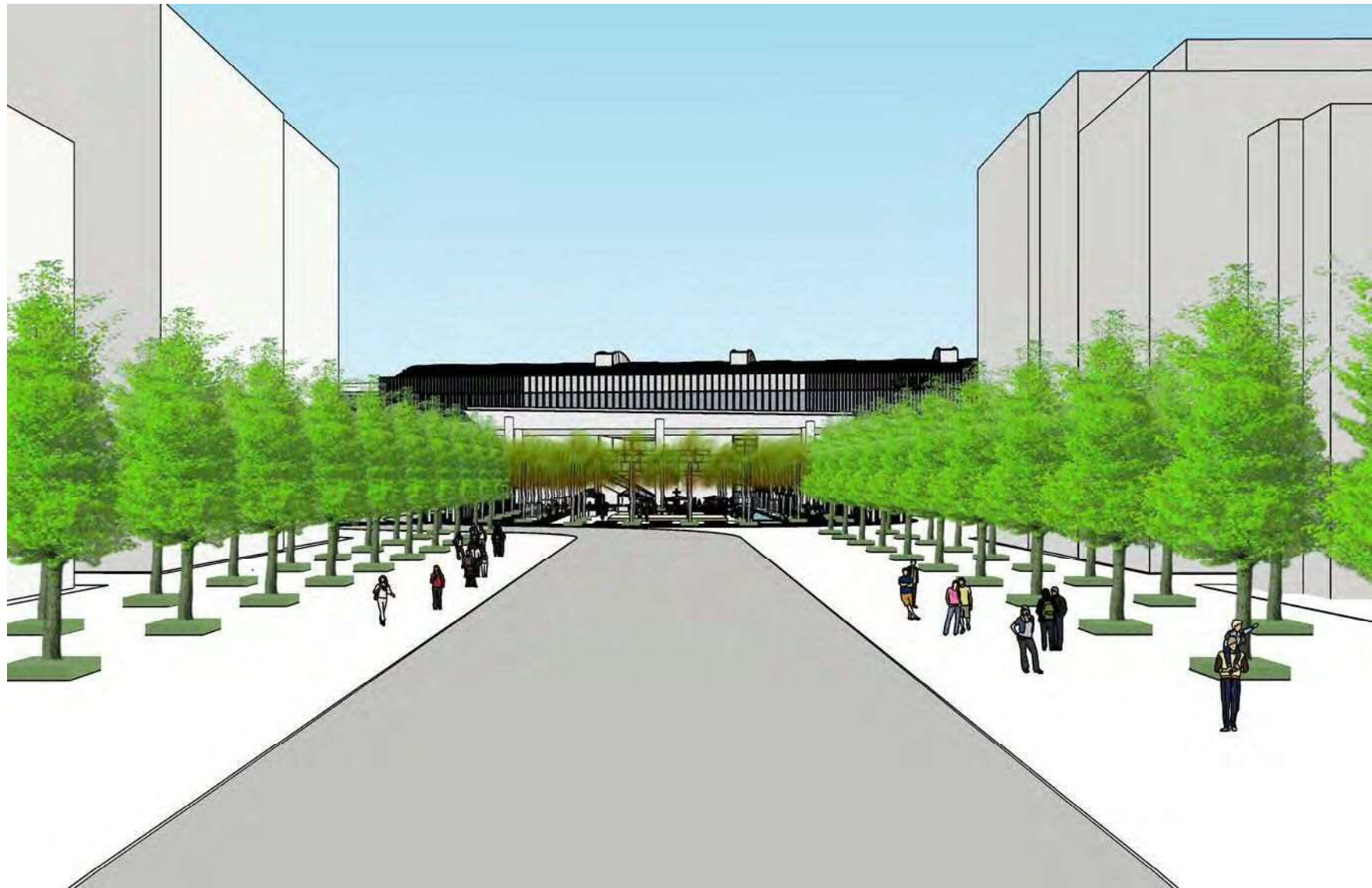


万代広場ペデストリアンデッキから広場・都市軸方向をのぞむ

(東大通りは将来形のすがた) 8

■ 2017年度計画案イメージスケッチ

資料 2

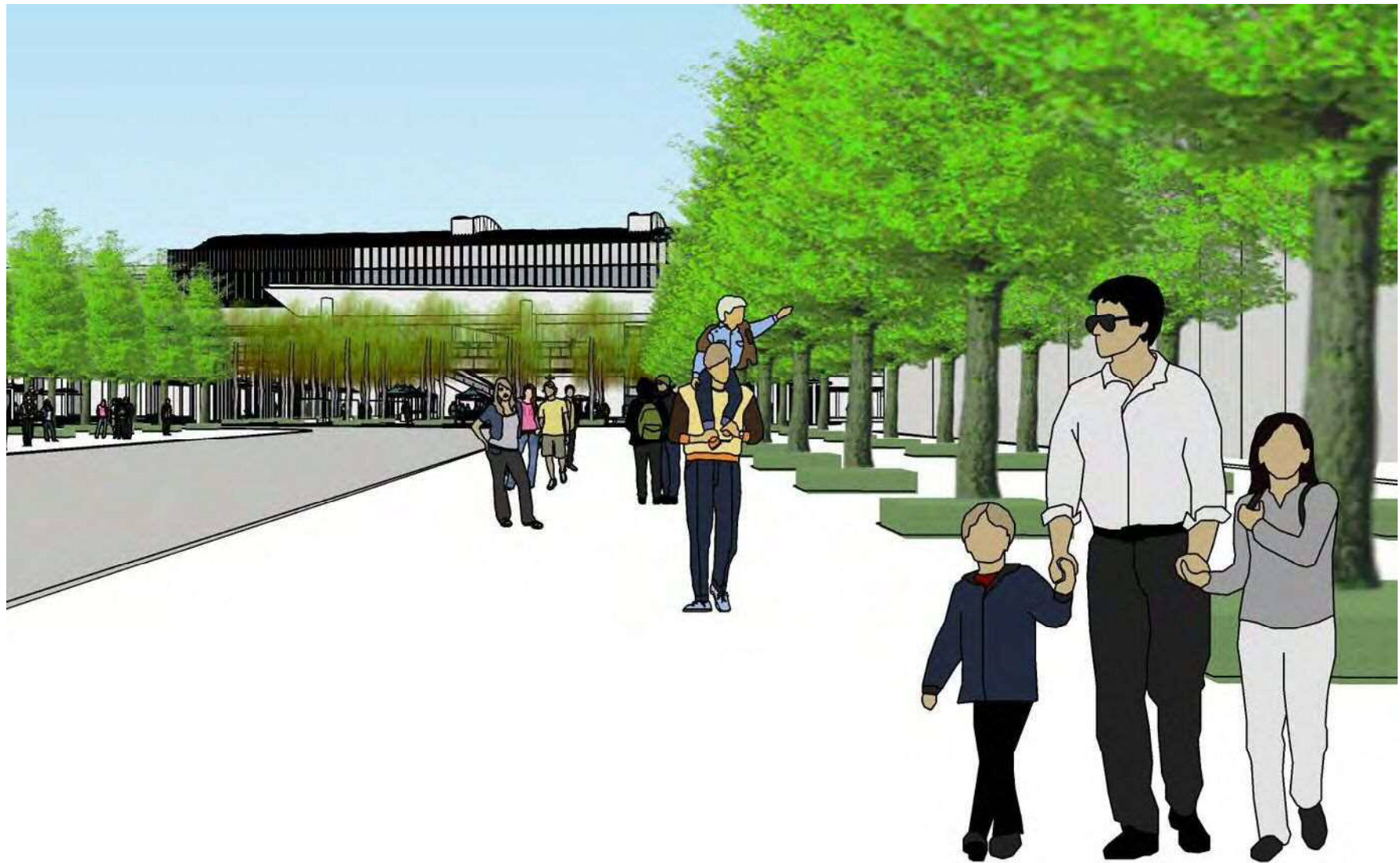


東大通りから万代広場中央広場のぞむ

(東大通りは将来形のすがた) 9

■ 2017年度計画案イメージスケッチ

資料2



東大通りから万代広場中央広場をのぞむ

(東大通りは将来形のすがた) 10



中央広場からペデ大屋根・駅舎側をのぞむ

■ 2017年度計画案イメージスケッチ

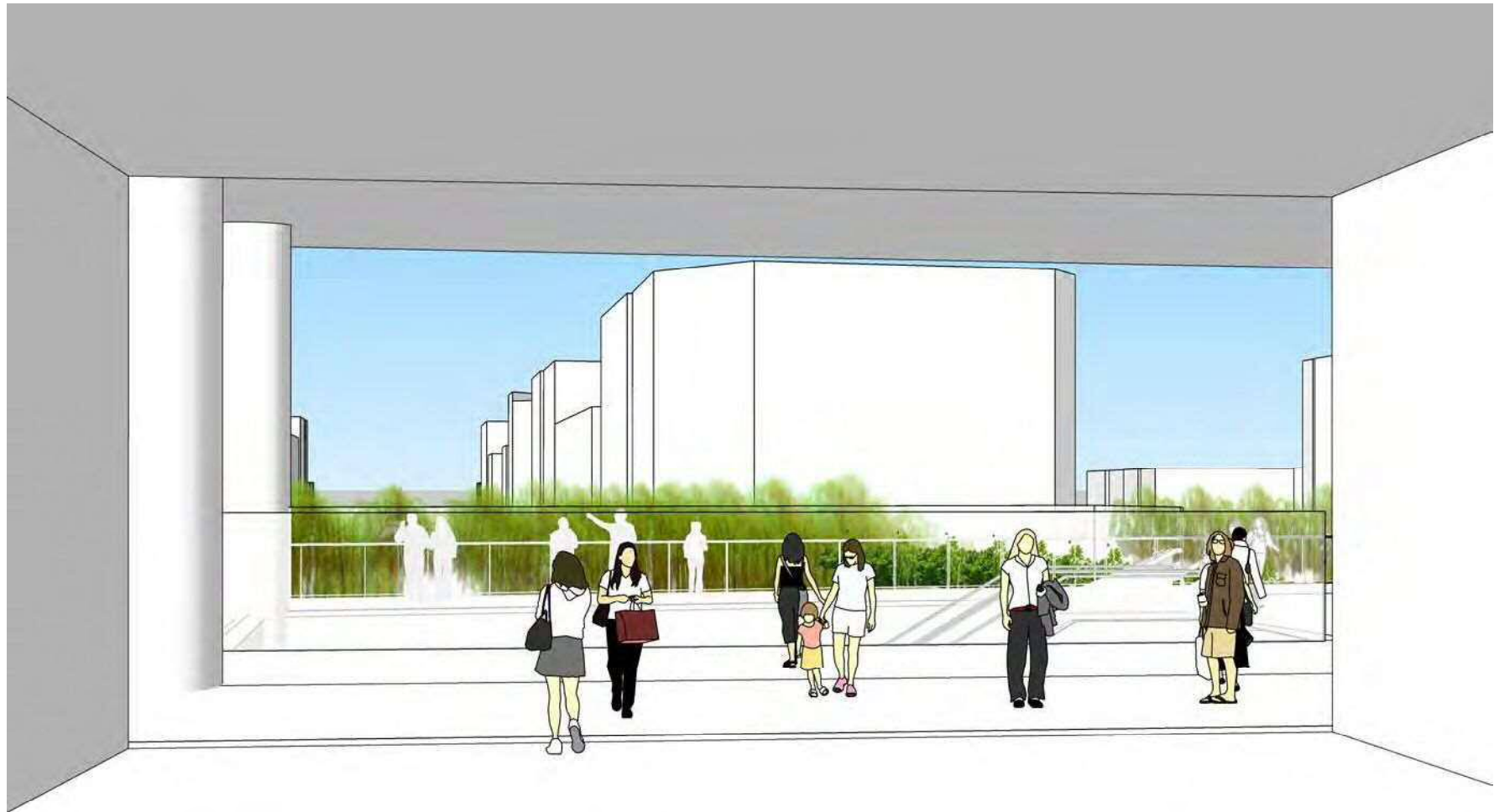
資料2



中央広場地上階からペデ大屋根をのぞむ

■ 2017年度計画案イメージスケッチ

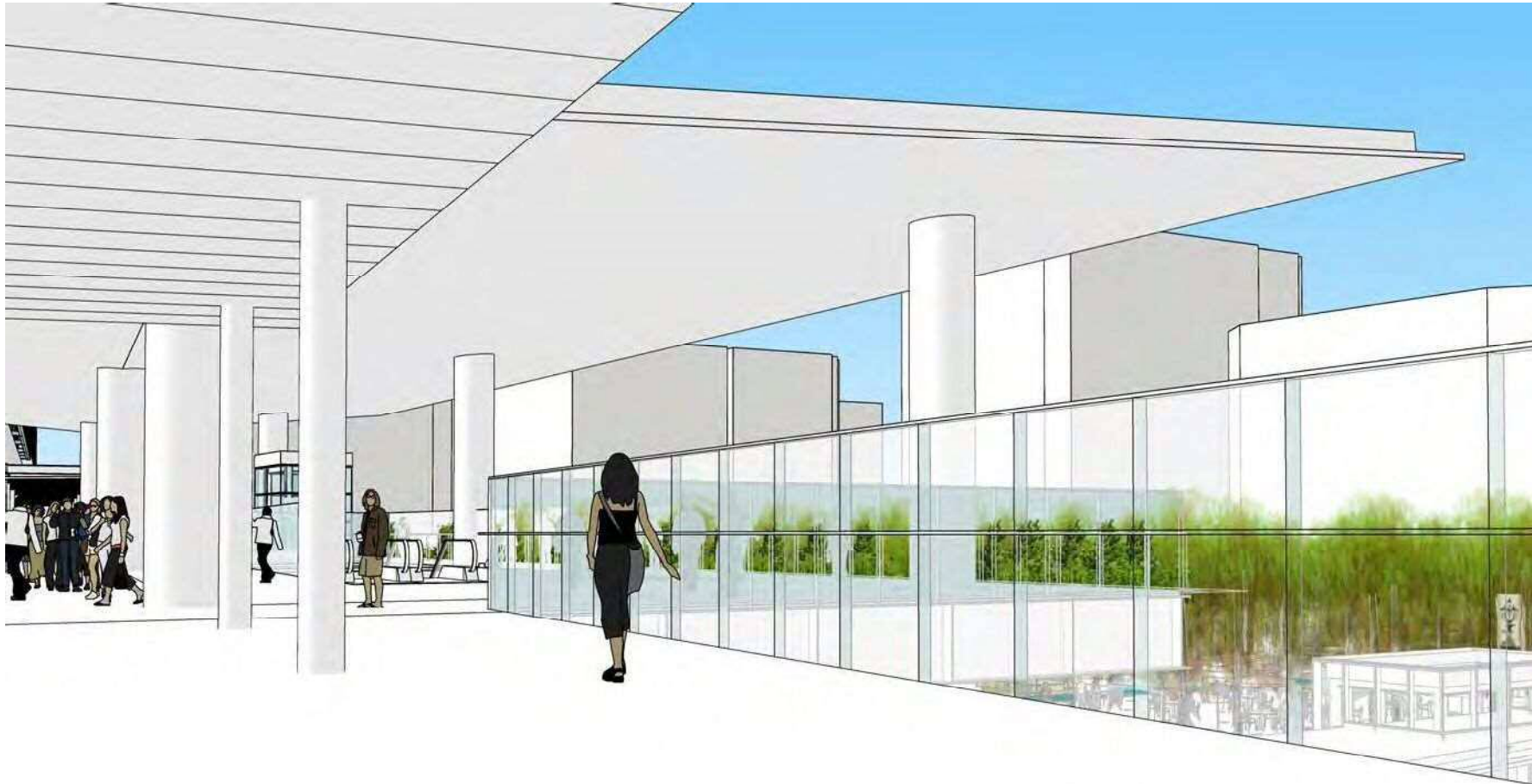
資料2



デッキ階JR通路出口から中央広場側をのぞむ

■ 2017年度計画案イメージスケッチ

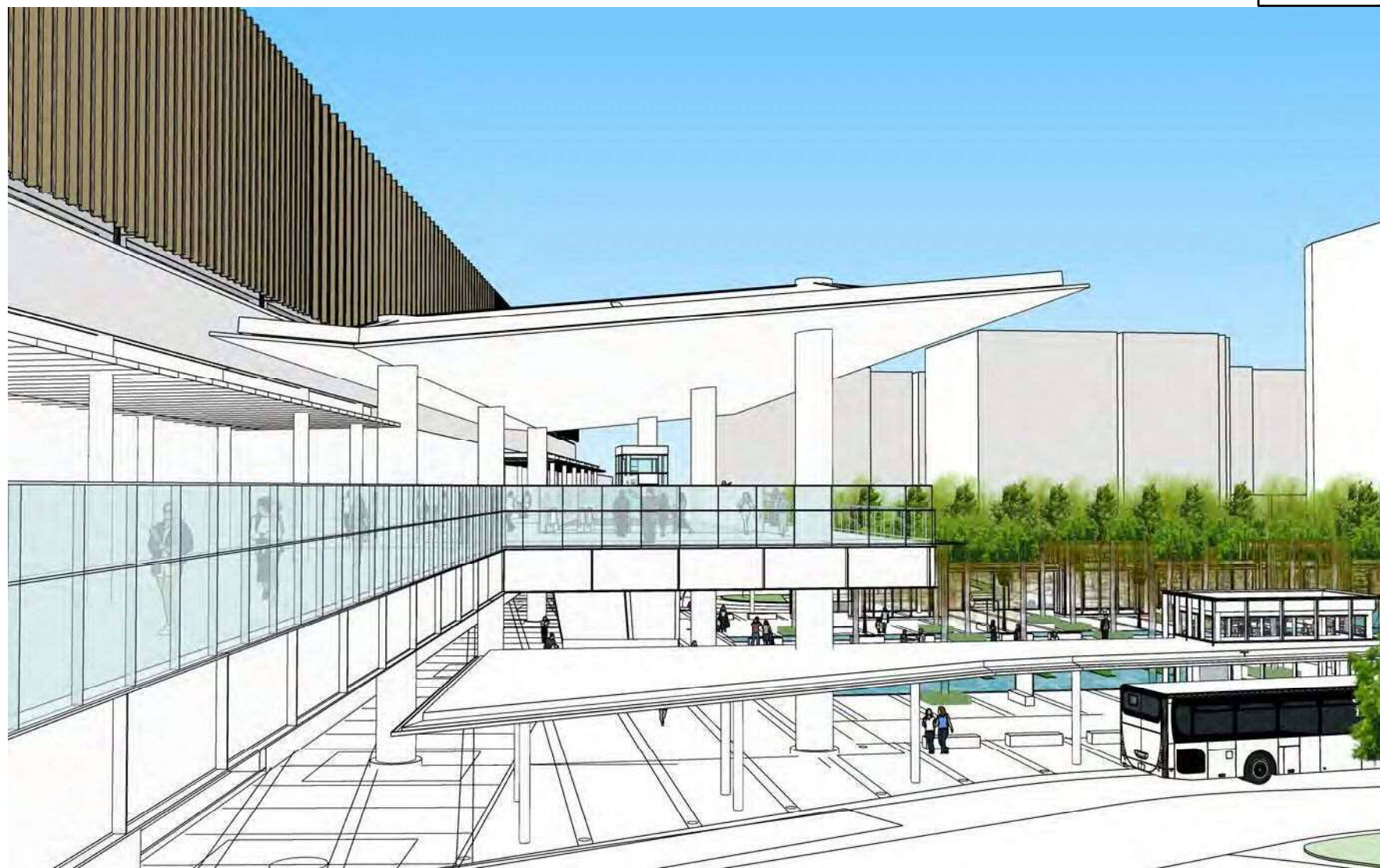
資料2



デッキ階東側通路からデッキ中央広場大屋根側をのぞむ

■ 2017年度計画案イメージスケッチ

資料2



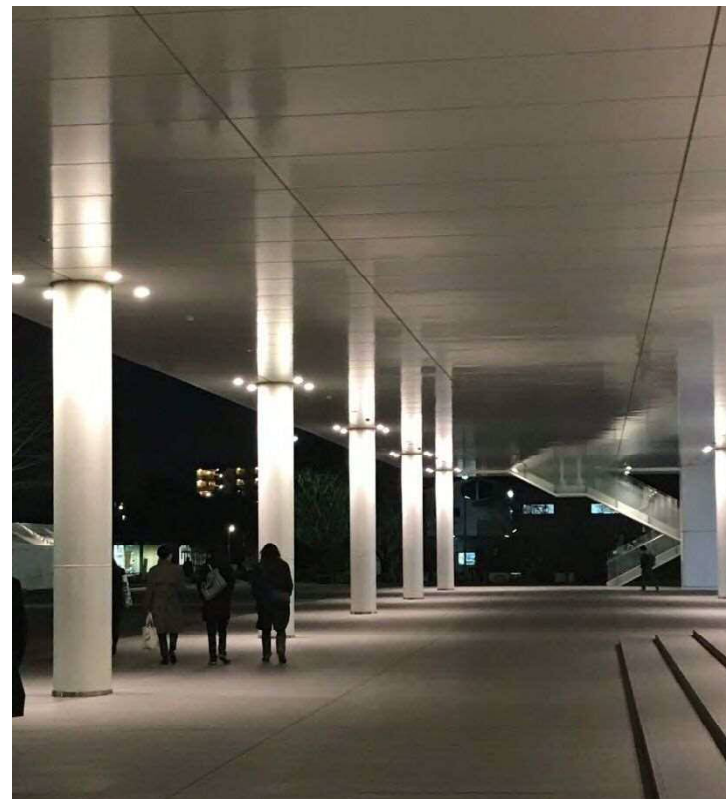
広場東側JRビル予定地デッキ階から中央広場大屋根側をのぞむ

■ 参考写真－中央大屋根天井への風景・光の写り込み

資料2



芝浦工大大宮校舎2号館 (昼間)



(夜間照明)



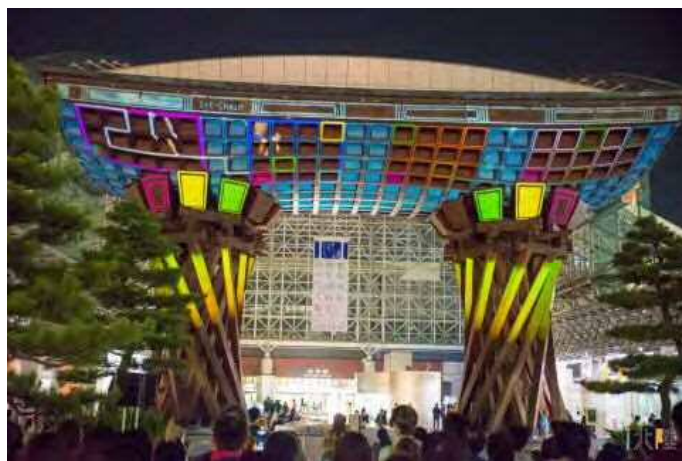
参考：大屋根天井面のプロジェクションマッピングイベントイメージ

■ 2017年度計画案イメージスケッチ

資料 2



大屋根天井面のプロジェクションマッピングイベントイメージ



参考：金沢駅



東京・有明・国際展示場



地上階JR駅舎中央出入口(想定) から中央広場の列植をのぞむ

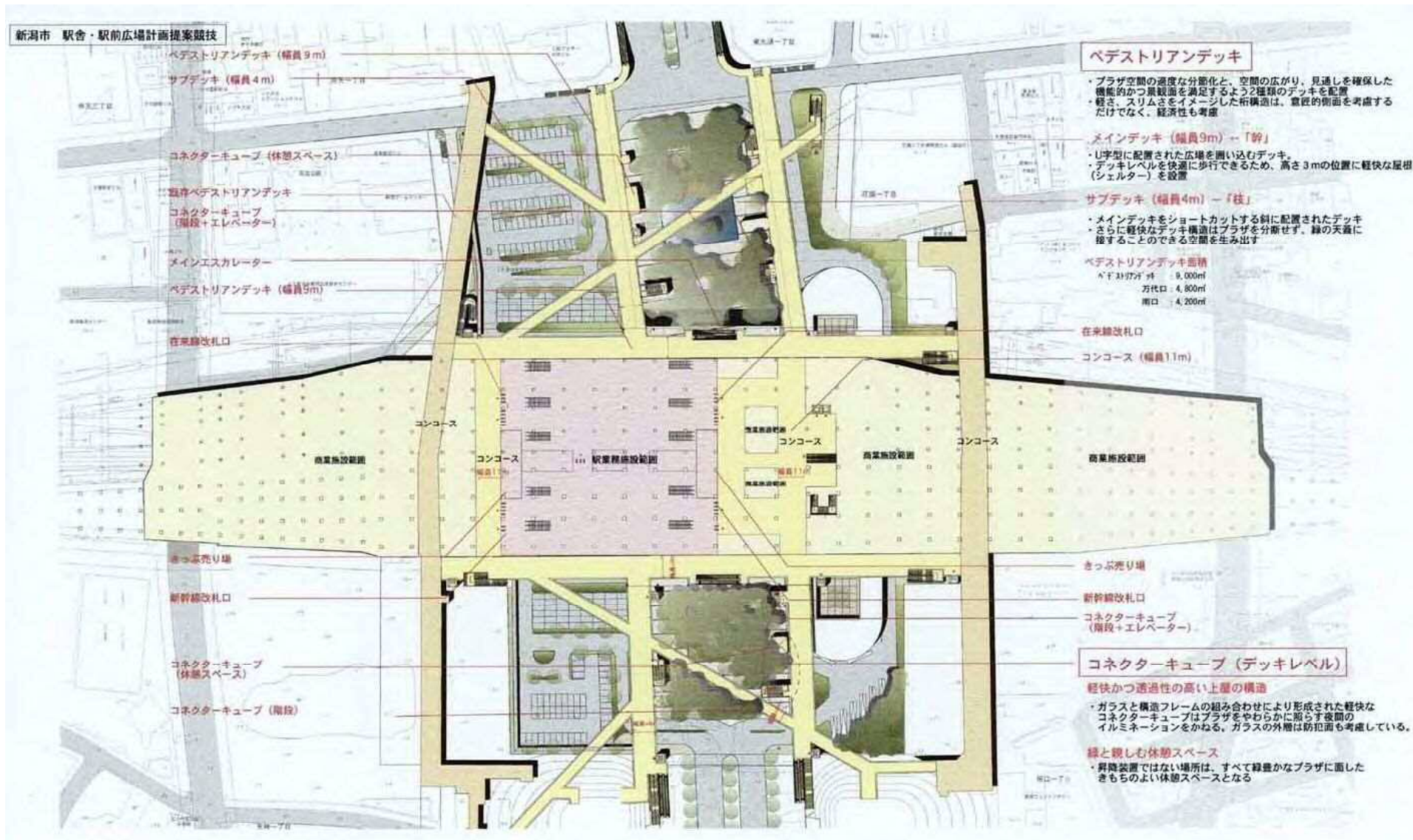
■ 2017年度計画案イメージスケッチ

資料2



地上階JR駅舎東側出入口(想定) から中央広場の列植をのぞむ

■ 2017年度計画案に至る経過説明



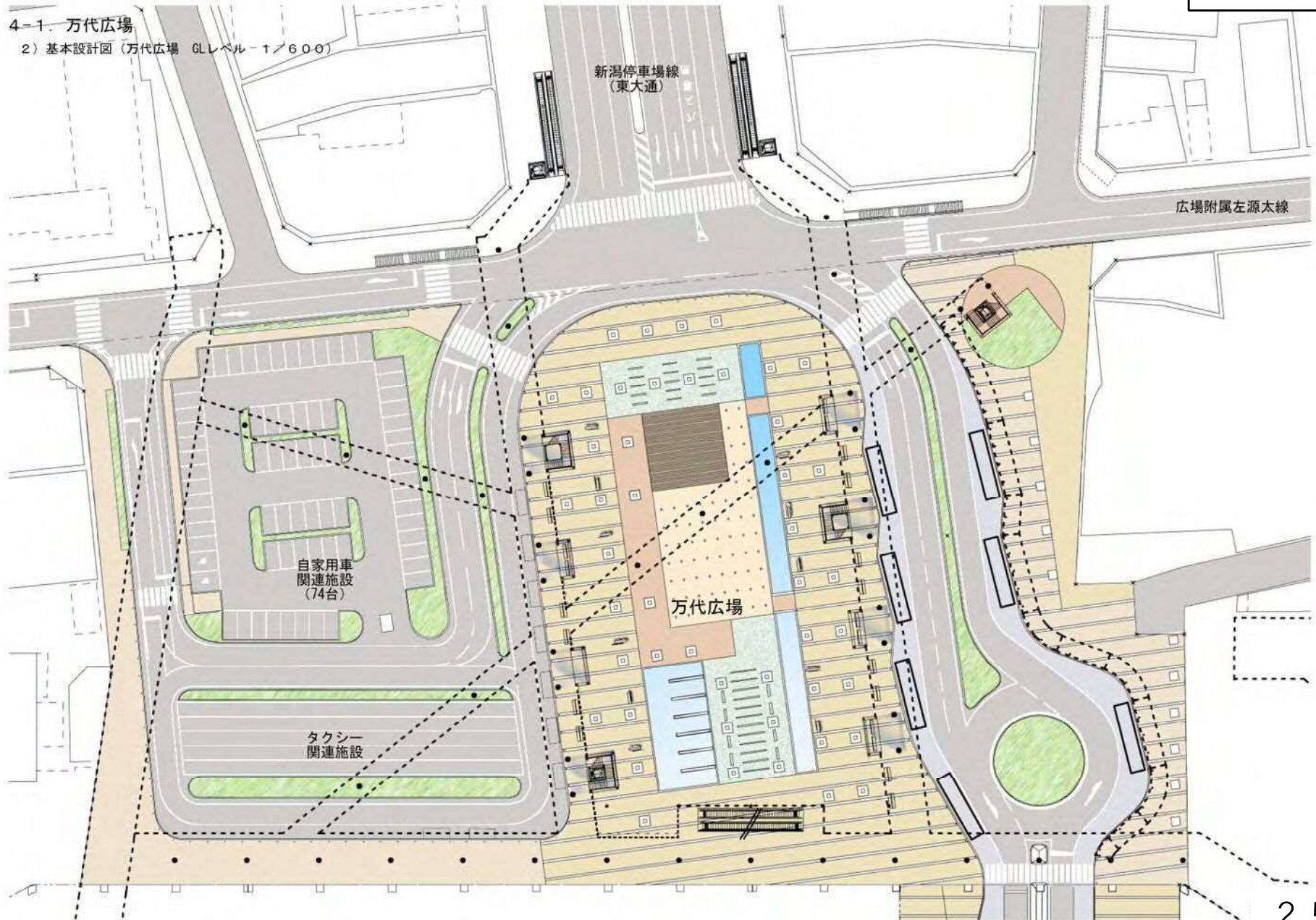
ペDESTリアンデッキ階
2002年度に行われた新潟駅 駅舎・駅前広場計画提案競技最優秀案
 南北とも広場上空に東西南北の幹ペデに斜め方向の枝ペデを設ける案

4-T. 万代広場

2) 基本設計図 (万代広場 ベテレベル 1/600)



デッキ階平面図



地上階平面図

(1) JR新潟駅利用客数の変化

検討のベースとなる計画利用者数の変化

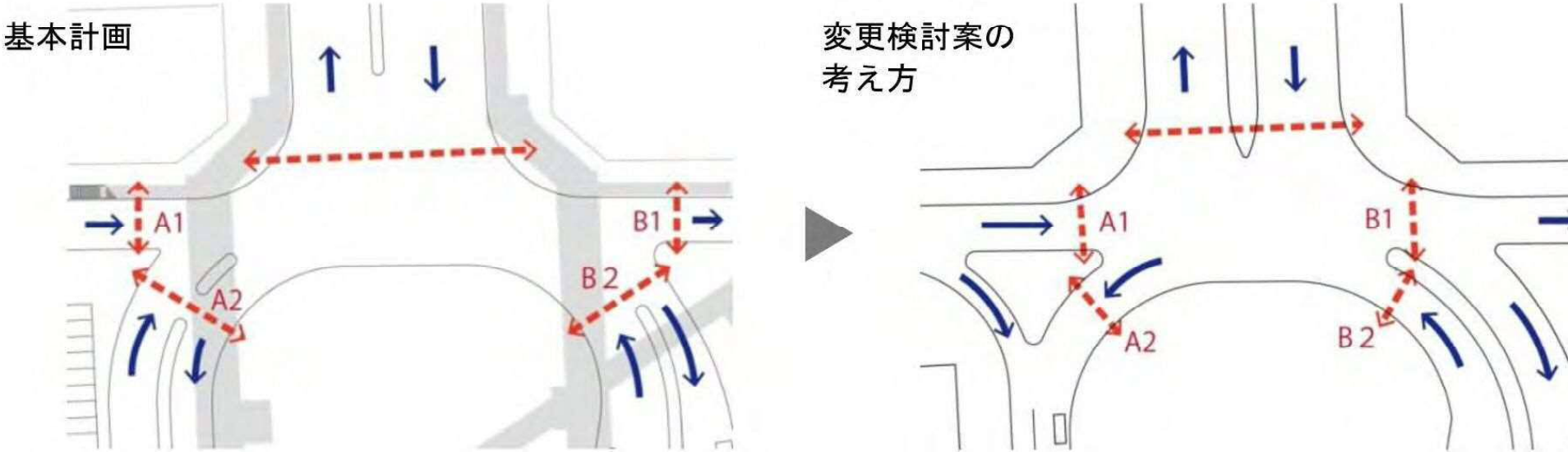
- ・当初の想定から横ばいの駅利用者数（乗客約4.5万人/日→3.7万人/日）
- ・駅前広場利用ピーク率の低下（20%→13%）



(2) 計画条件の変化—交差点部の横断歩道対応の現実性

菱漣線・左源太線の対面通行化の廃止

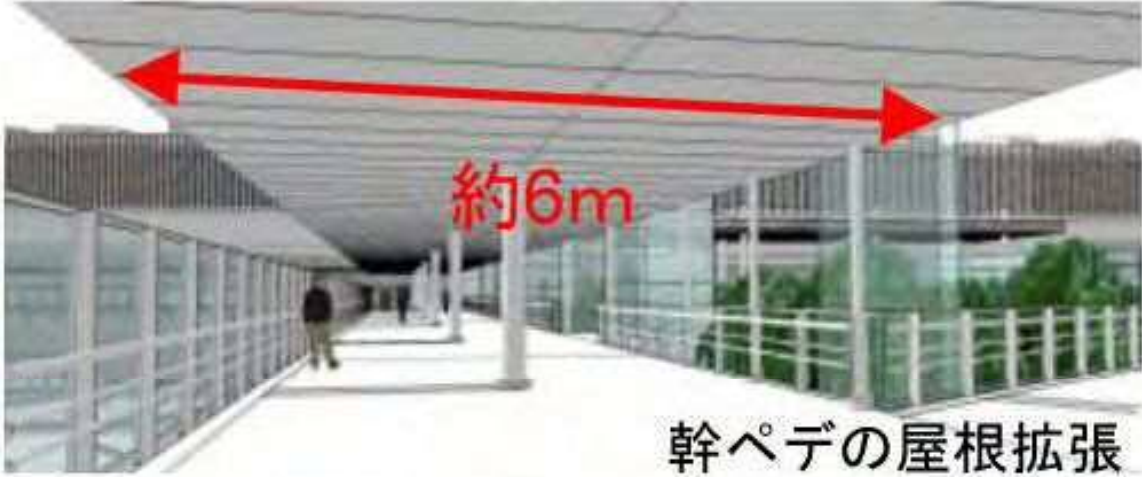
→計画交通量の減少、交差点処理、横断歩道で十分可能
立体横断施設設置基準に満たない自動車交通量である



(3) 冬季対策施設設置の市民要望

H24年度市民ワークショップにより屋根や防風壁等の施設を設置する方向が示される

→同じ方向の動線に2重投資することになり
公共施設への効率的な投資をとという視点から見直し
を検討する必要性



(4) 駅前広場周辺における開発動向 ペデ計画と周辺ビル開発の整合性が図れていない

資料 2

ペDESTリアンデッキ接続
が困難な既存再開発ビル

再開発計画の長期化

菱潟線・左源太線の
対面通行化廃止



ペDESTリアンデッキ
階・地上階への冬季対策施
設の二重投資
整備費及び維持管理費の
圧縮

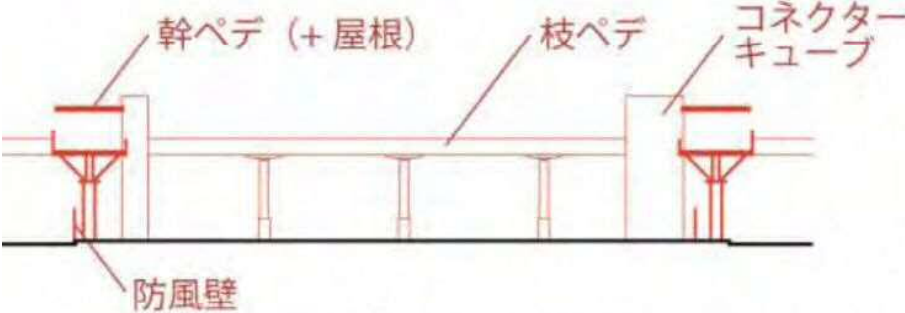
基本設計時点から
横ばいの駅利用客数

計画条件の見直し

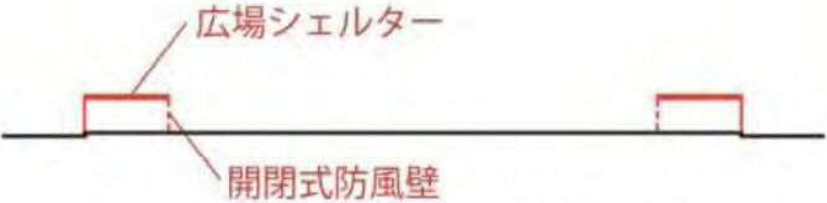
(5) 維持管理費の圧縮を考慮した整備内容の精査
人口が減少する中で限られた財源により公共施設を維持していくためには、極力整備内容を圧縮することが求められている。
(2025年には、2010年比で約5.2万人減)

＜快適性の検討・概算事業費等の算出＞

- ・ 広場レベルにおける冬季対策の検討



基本計画の広場断面イメージ



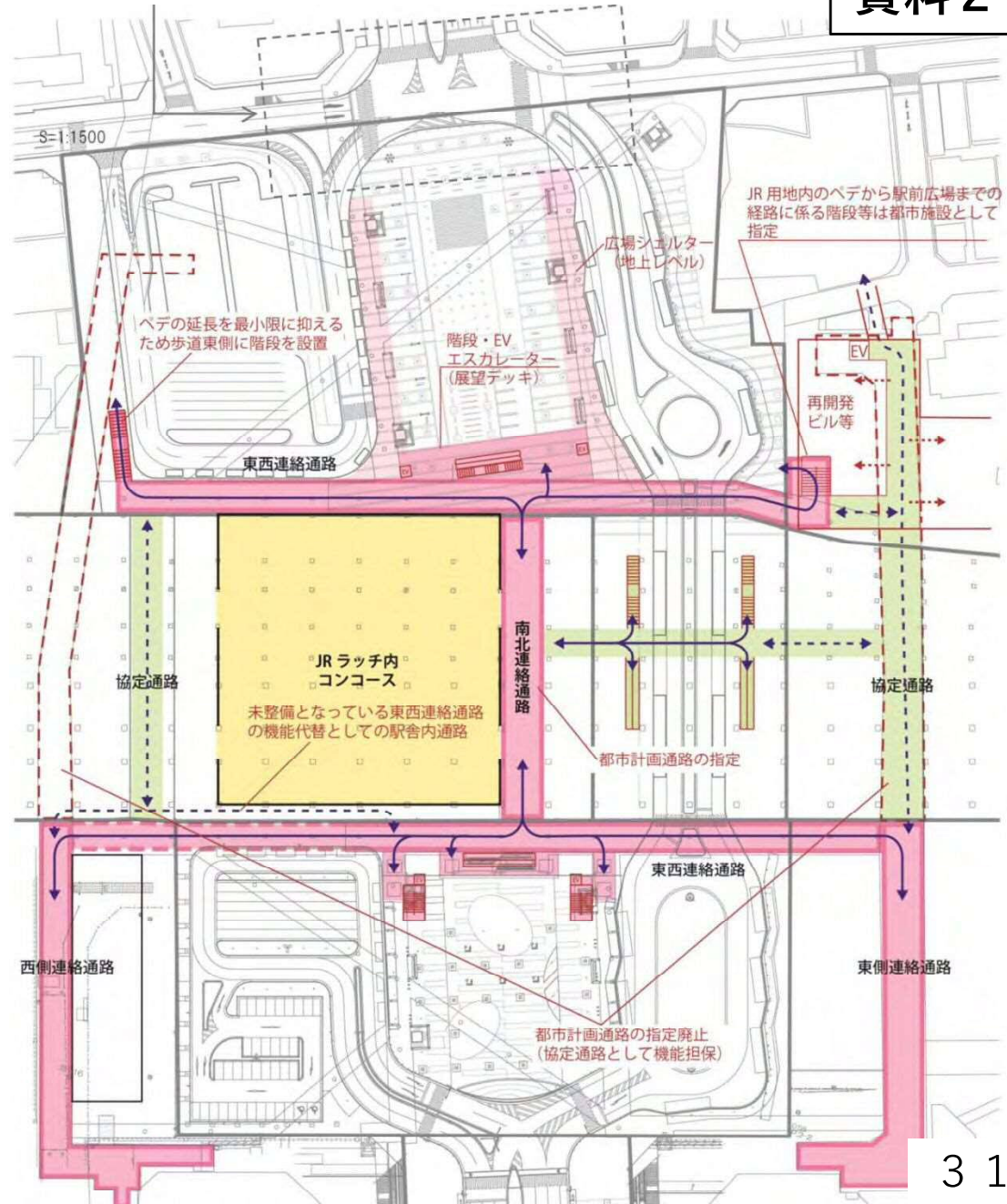
変更検討案の広場断面イメージ



冬季対策イメージ

(6) 都市計画の見直し案検討

既都市計画決定の東側・西側連絡通路及び東西連絡通路について、歩行者動線や駅舎計画等を勘案し、東側・西側連絡通路については都市計画を廃止し、南北連絡通路を新たに都市計画として決定する方向で幅員等の検討を進めることとした。



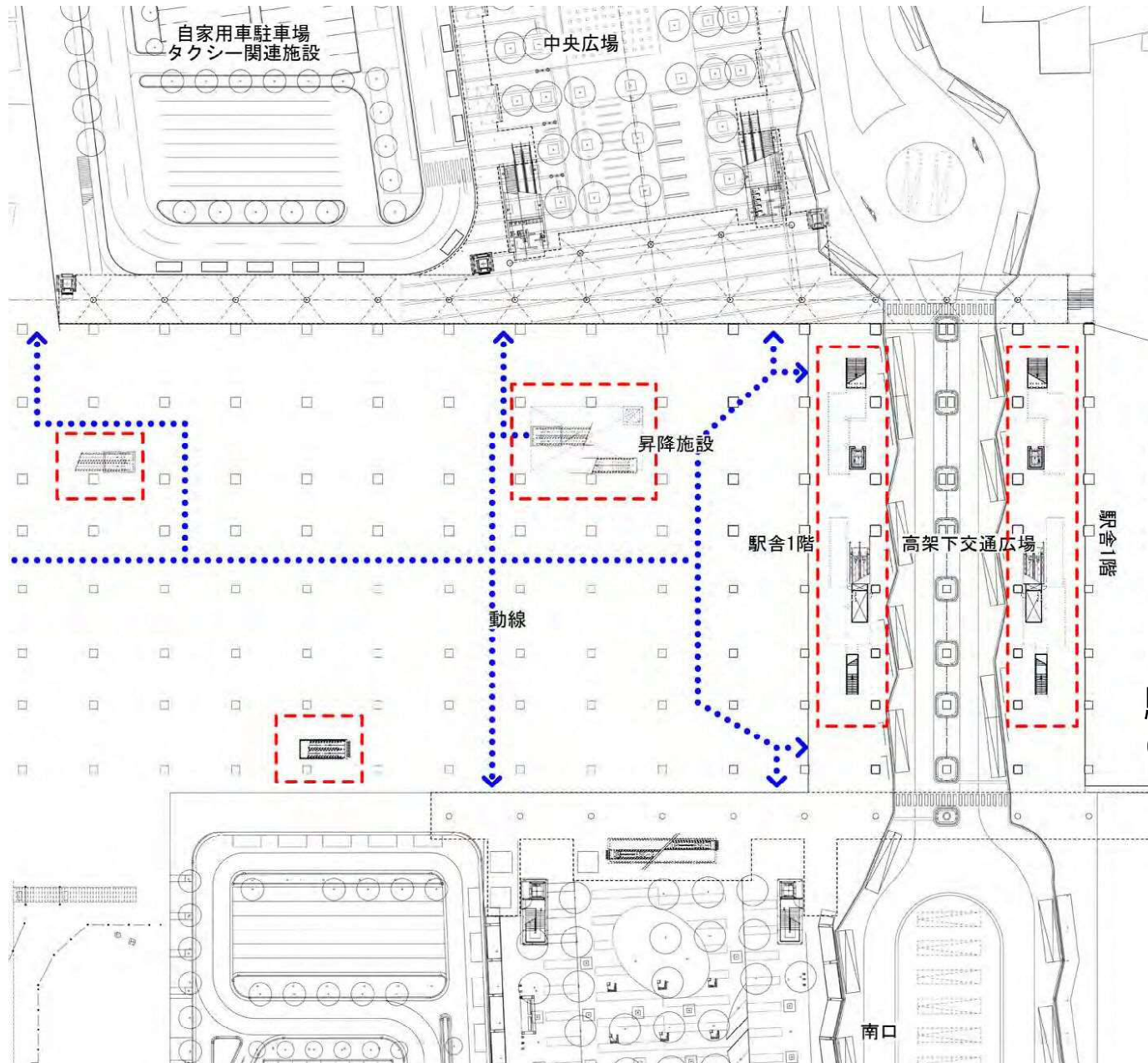


エスカレーター・階段を両側に設置する案

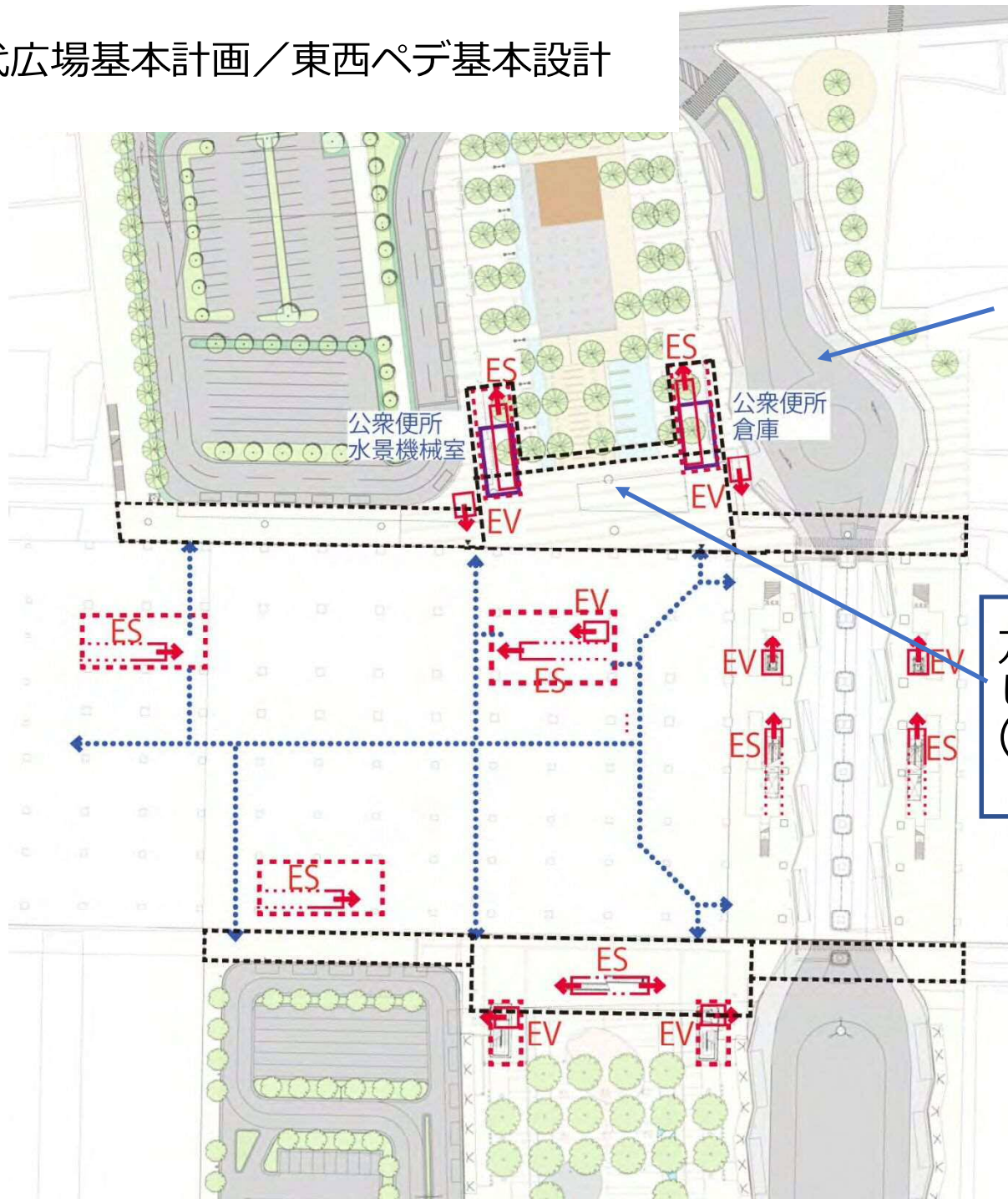
南北広場合成図



南北広場合成図
(JR駅舎側未発表)



駅舎1階垂直動線
(取り扱い注意)

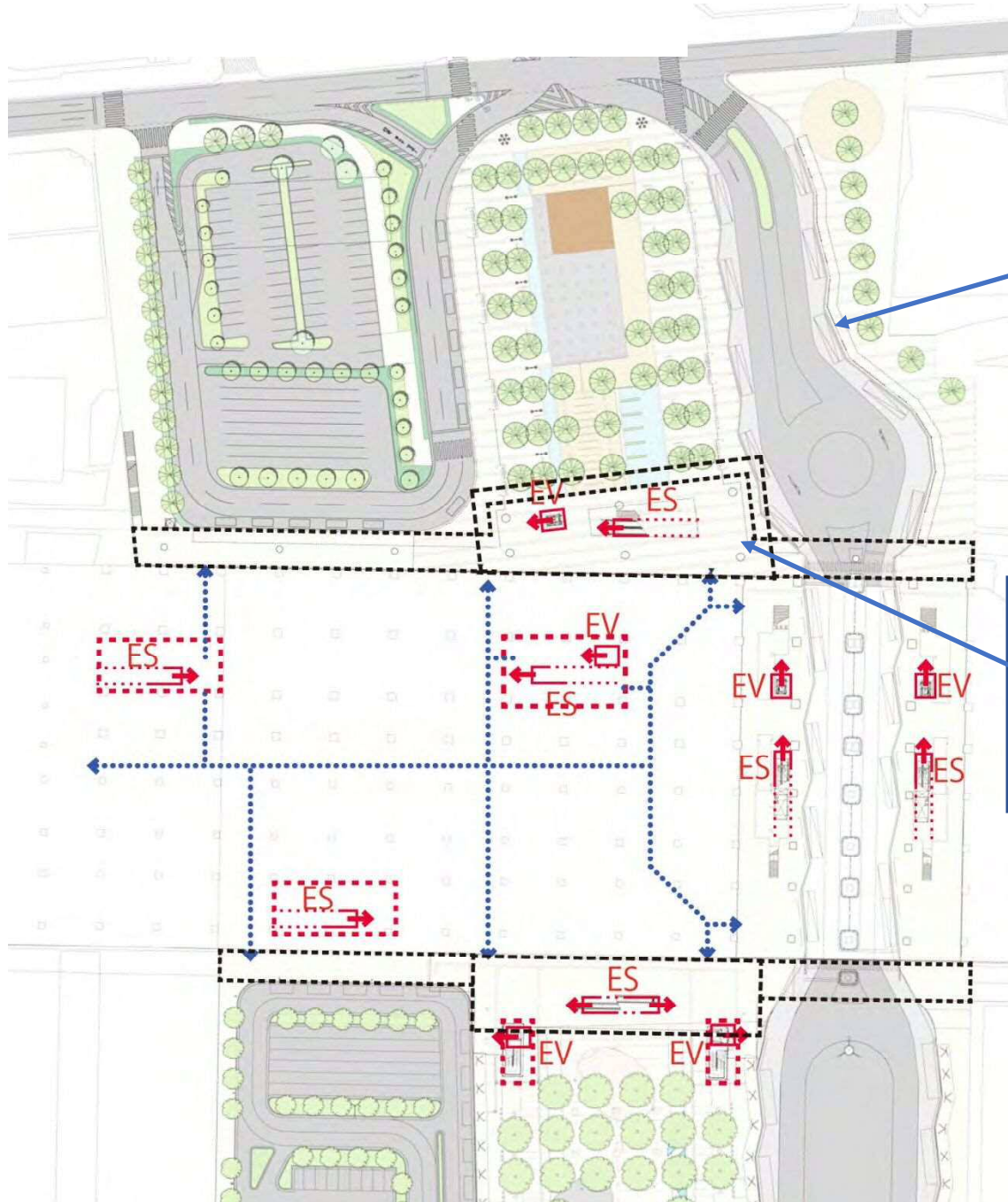


バスターミナルの拡張
BRT乗降場の追加
バス事業者との調整

万代広場内垂直動線見直し
し駅舎内との整合性
(取り扱い注意)

2016～
17年度

資料2



バスターミナルの拡張
BRT乗降場の追加
バス事業者との調整

万代広場内垂直動線見直し
し駅舎内との整合性
(取り扱い注意)

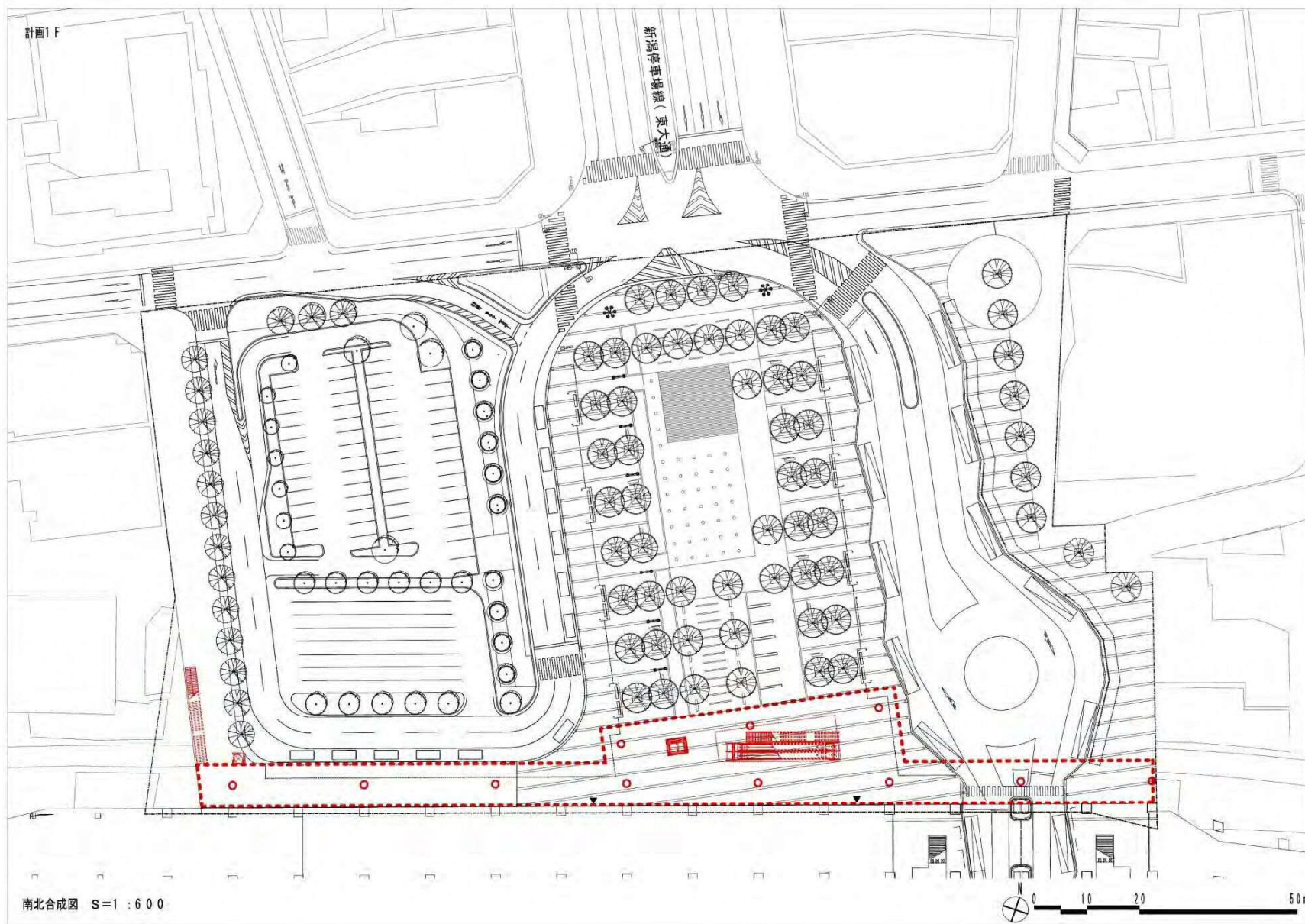
2017年度ペDESTリアンデッキ階平面図(万代広場)

資料 2



2017年度地上階階平面図(万代広場)

資料 2

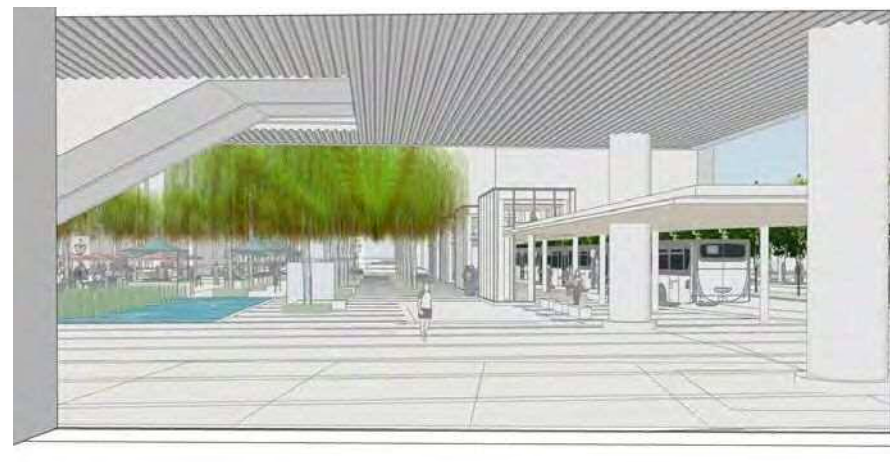


■ イメージスケッチ(再録)

資料2



地上階JR駅舎中央出入口(想定) から
中央広場の列植をのぞむ



地上階JR駅舎東側出入口(想定) から
中央広場の列植をのぞむ

万代広場・中央広場 ランドスケープデザイン説明

■整備方針 | 「都市の庭」としての駅前広場 ~ 人を癒やし、賑わいの絶えない歩行者広場

・南北性格の異なった広場として計画

万代広場周辺は業務・商業をはじめとする中心市街地部であり、日々、数多くのビジネス客や観光客が訪れる。

⇒ **新潟駅の玄関口**として整備する。

・新潟の豊かな自然を象徴する「都市の庭」

夏には木陰、冬には陽だまりとなり、市民や来訪者の快適なアウトドアルーム（戸外室）として利用されるような

緑の天蓋（キャノピー）を形成する。

・バリアフリーを実現する平坦な広場 +

・歩行者動線、滞留空間を明快に区分するゾーン構成

新潟を初めて訪れた人に対して情報を発信したり、

市民の交流が活性化していく拠点としての**大規模なイベント**

（イベント、朝市、屋台・カフェ等）を支える設備を整備する。



南口広場 | 地域住民のための落ち着きある広場（ケヤキの天蓋）



万代広場 | コンペ時提案イメージ

■新潟らしさの演出 - 1

① “水都” 新潟をイメージした水景施設

街なかには堀が張り巡らされ、堀を中心に栄えていた名残が地名としても残っている。そうした歴史に思いを馳せ、新潟の都市軸の基点となる万代広場に水都・新潟を象徴する水景施設を設け、**信濃川へ向けた緩やかな流れ**を創出する。



② “柳都” 新潟を象徴するシダレヤナギ

街なかの堀端には柳が植栽されていた新潟の街。人々が行き交い、水と柳が織りなす美しい新潟の原風景を新潟の玄関口・万代広場の**おもてなしの風景**として新たに創造する。



水景施設イメージ

■新潟らしさの演出 - 2

③ “土地の記憶” の継承

新潟では古くから石油と天然ガスが生産され、古くから地域の発展に寄与してきた歴史がある。そうした歴史を背景に、民間企業団体が母体となった「新潟市に瓦斯灯を設置する会」と新潟市が一体となって駅前広場から東大通りにかけ 22 基のガス灯が設置された。【平成 4 年、国土交通省「手づくり郷土賞」を受賞】

⇒ 現駅前広場にある 8 基のガス灯（大：2 基、小：6 基）は**土地の記憶として継承**し移設活用する。



※ガス灯は部分整備時（平成 27 年）に一度移設済み

④ “新たな新潟らしさ” の創造

ここでさまざまなアクティビティが行われ、市民の人たちによる広場の利用（使いこなし）によって、**時間の経過と共に新たな「新潟らしさ」**を作り込んでいく。



新潟の食・酒に関するマルシェのイメージ

※交通関連施設は検討・調整中

■ 中央広場の設え



ガス灯 (大) 2基
移設済み

イベントステージ
・プラザ面より1段 (h400mm) 高いデッキテラス
・ステージになるとともに待合せ空間ともなる

プラザ
・開放的なプラザ
・夜間は床照明が浮かび上がる
・イベント時は観覧スペースとなる

ガス灯 (小) 6基

柳のモールと堀割
・水都新潟を象徴する水面
・夜景を演出するガス灯の鏡像が印象的な空間

シダレヤナギの天蓋

・柳都新潟を象徴する緑の天蓋
・8本は既存樹を移植済み

防風ベンチ (11基)

バス待ち空間

・コネクターキューブと防風シェルター
・待合いベンチ (8基)

送迎待機スペース

・コネクターキューブと防風シェルター
・待合いベンチ (8基)

水盤

・水都新潟を象徴する水面
・池内に水性植物を植栽

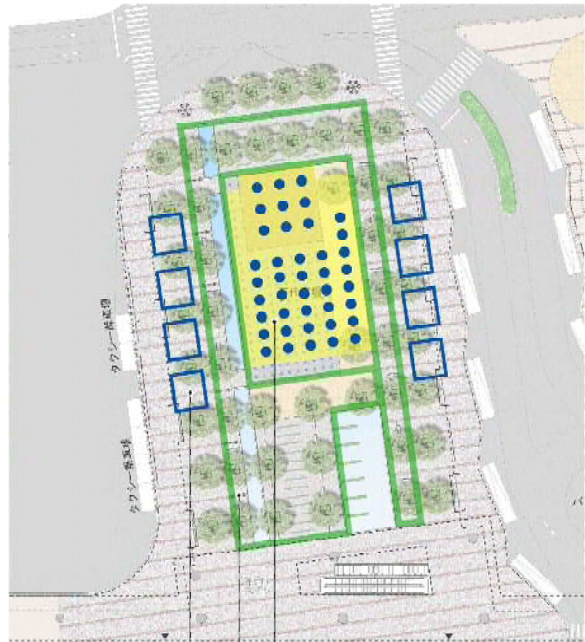
LEDライン照明

・舗装や水生植物のリズムと共に人々を広場へ誘導する夜景演出

※交通関連施設は検討・調整中

■ イベント対応 | 各種団体等による多様なイベント開催を考慮する

① 飲食・販促イベント



パラソル・テラス空間 (約 750 m²)
 オープンカフェやビアガーデン等
 木陰の滞留空間
 屋台・テントスペース

② 物販・フリーマーケット



マーケット空間 (約 1500 m²)
 展示会や絵画展等

③ 音楽系ステージイベント



観覧席 (約 580 m²)
 ・立ち見: 400 ~ 500 人程度
 ・椅子席: 200 ~ 250 人程度
 周囲のスペースからも垣間見える

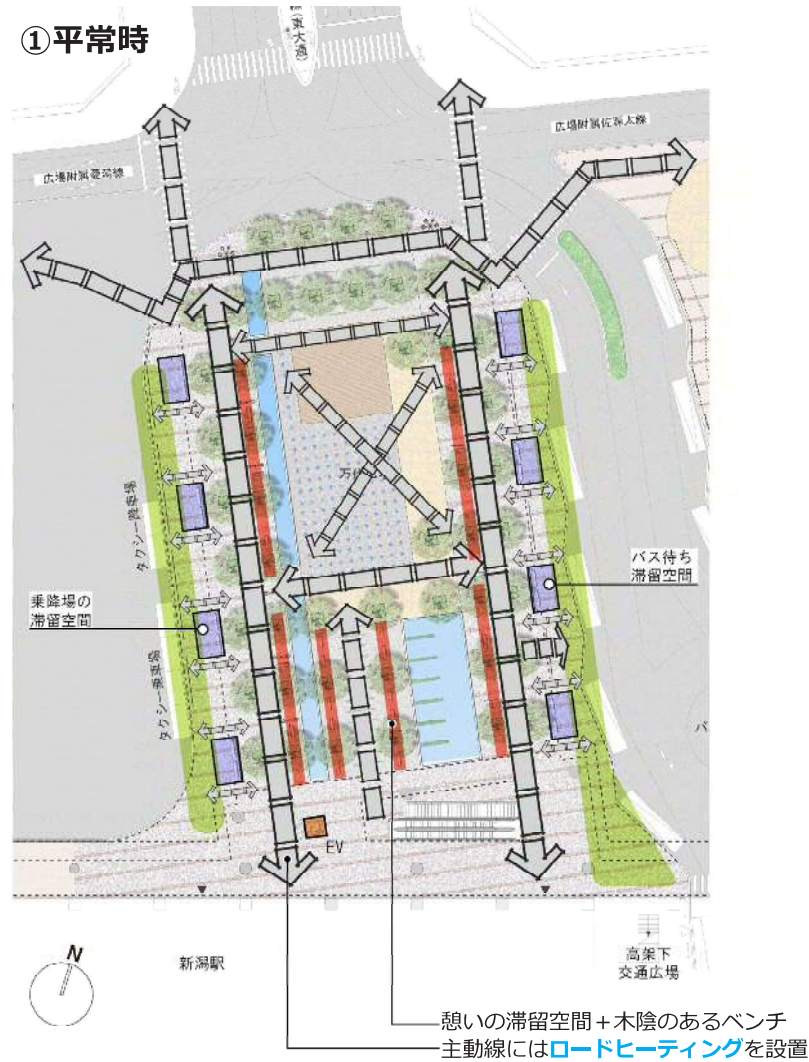
参考)

表情や身振りなどを十分見るためには 15 m 程度が限度と言われる。また、顔の識別距離は 24 m 程度が限度と言われる。観覧席の空間的スケールは「都市の親しみある空間」として適切な広がり確保している。

※交通関連施設は検討・調整中

■ 歩行者動線計画

① 平常時



② イベント時

明快なゾーン構成により、イベント開催時においても通常利用の歩行者動線を妨げない。

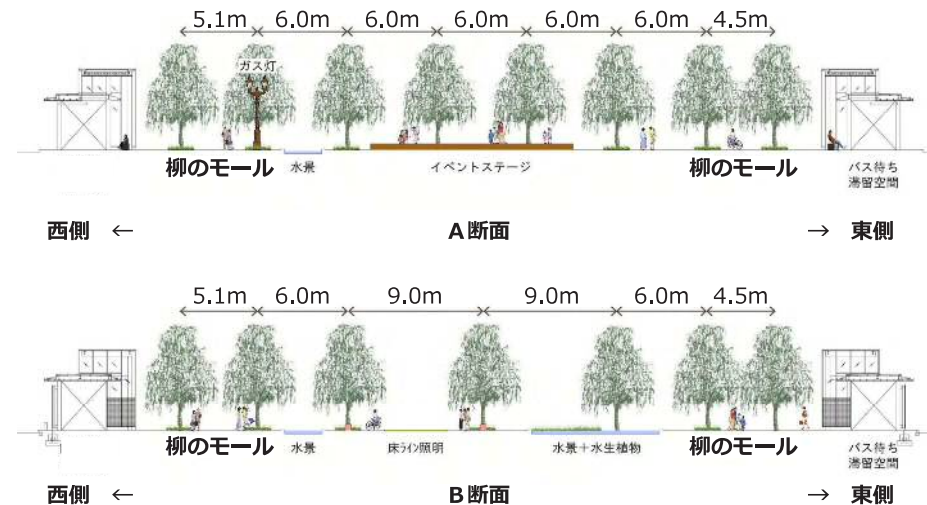


■シダレヤナギによる緑の天蓋形成について

- ① 植栽間隔は**歩行者の通行を妨げない**幅に設定し、舗装デザインを基準として一定間隔に設定する。
- ② 樹木足下には常緑低木花木（寒椿など）を植栽し、**冬でも緑が感じられる**ように配慮する。
- ③ **地下支柱**とし、通行やイベント利用を妨げない。
- ④ 工事に際し、植栽客土については土壌検査を行い、**適切な土壌改良**を施す。高木の植穴改良に加え、舗装路床部には根莖誘導耐圧基盤を敷設し、**十分な植栽基盤を確保**する。
- ⑤ 植栽地の**透水性及び土壌硬度の適性を確認**する。植栽基盤の排水性が悪いと判断される場合には、根腐れ防止の透水層及び暗渠排水管の敷設することを検討する。



参考) 柳の天蓋事例 | 柳浪聞鶯 (リウ・ラン・ウイン・イン), 中国西湖十景



終